

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

2030年ビジョン

Innovative quality company - 新たな価値を創造し続ける

2 中長期の経営戦略

1. 成長戦略

キャビンコーディネート機能の獲得、新事業拡大、主要客先ホンダのシェア向上に取り組む

3. 機能戦略

サプライチェーン再構築、環境技術開発、AI活用による高効率生産体制を推進

2. 地域戦略

北米の収益性改善、中国での新規顧客獲得、ポーランド生産会社による欧州営業強化

4. 資本効率の向上

成長投資と株主還元を拡充し、資本効率向上を目指す

3 対処すべき課題

① 事業環境対応

- ・ 中国市場での日系メーカー販売不振への対応が急務
- ・ 米国通商政策による先行き不透明感への対応
- ・ 原材料価格高騰と労務費上昇への対応

② 新規顧客・商権獲得

- ・ ホンダ依存の低減とクリシュナグループ連携によるインド市場展開
- ・ 長安汽車グループなど中国新規顧客の開拓
- ・ 欧州自動車メーカーへの営業活動強化

③ 持続可能なモノづくり

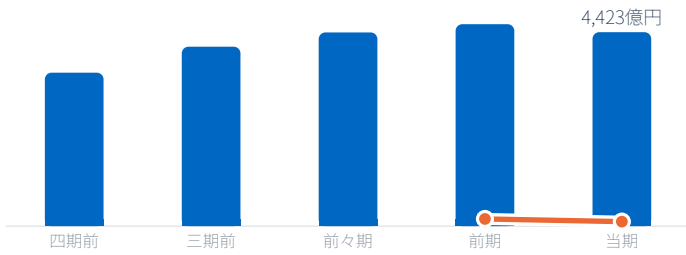
- ・ 軽量化・サステナブルマテリアル置き換え技術の構築
- ・ モノマテリアル化と易解体構造の実現
- ・ 省エネ技術と再生可能エネルギー導入の拡大

面接で使えるポイント

- ・ EV化・自動運転時代に向けたキャビン全体コーディネート機能を実現する企業への変革
- ・ 次世代車室内空間発表会で提案する新たな移動時間の創出に取り組む姿勢
- ・ インド市場でクリシュナグループと設立する合併会社による事業拡大戦略

証券コード 7313

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,423億円

営業利益率
2.3%

財務健康度
48点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 64.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
780万円

輸送用機器内 15位/82社

平均年齢
41.4歳

輸送用機器内 60位/83社

平均勤続
17.6年

輸送用機器内 39位/83社

女性管理職
2.8%

輸送用機器内 46位/72社

男性育休
80.0%

輸送用機器内 28位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

